

## 11月27日 朝礼にて 校長講話

これは、「じんけん」と読みます。これは1年生の子は習ったよね「人」「ひと」と読みます。こっちの字は習ってない子がたくさんいるよね。権「けん」です。権利の権。人権って言うのは、人の持っている権利ということです。権利とは何かというと、やってもいいよと認められていることを権利と言います。どんなことをやってもいいかということ、幸せになる権利です。みんなが幸せになっていいということで、それは一人一人に認められています。当たり前だと思うかも知れないけれど、一人一人が守られているか考えてみて下さい。

人権が守られるために覚えておいてほしいことは、人は違っていて当たり前だということです。隣の子の顔と自分の顔は違うよね。髪型も違うよね。もっというと、今考えていることも違うよね。好きなことも違うし、頑張っていることも違うと思います。それは違っていて当たり前なんです。でも、自分と違う、自分たちと違うと「何か変」に思って仲間はずれにしたり、その子の意見を受け入れなかったりすることがあります。人は顔が違うように声や考え方も違って当たり前だということを意識してほしいと思います。

2つめは私も大事、あなたも大事ということです。自分だけ幸せならいい、そのためなら何をしてもいい。何を言ってもいい。そんなことをしていたら、うまくいかないと思います。自分が大事だけど、同じように相手も大事だということを覚えておいてほしいと思います。それで、そんな内容の詩で先生の大好きな詩を紹介しますね。金子みすゞさんって知っている？3年生で習うかな。11月4日から1週間、人権週間です。人は違っていて当たり前。自分も大事だし、相手も大事。そんなことを意識して過ごしてほしいと思います。

そして、そんな学級、学校、家庭、社会であってほしいと思います。

わたしと小鳥と鈴と

金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥はわたしのよう、  
地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴はわたしのよう、  
たくさんうたは知らないよ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

